

# あしたの風

第 102号

令和 8 年 2 月 発 行  
編集発行 秋田市教育委員会  
生涯学習室

秋 田 市 の 生 涯 学 習



歴代藩主甲冑の展示  
～秋田市佐竹史料館～

☆☆土崎地区☆☆

趣味のお陰で人生豊かに

土崎地区生涯学習奨励員協議会

阿部保孝

「映画鑑賞、レコード鑑賞、釣り、山登りなどの趣味を持っている事と思うが、単に好きだけという事に止まらずに多くの知識も同時に学んでほしい」。

高校時代の国語教師が趣味について語った時の言葉です。

「好きな事を気楽に楽しんでやれば、そんなに堅苦しく定義づける事もないだろう」と思っていましたから、趣味についての考え方に変化が生じた記憶があります。

現職の時は野球、釣りで余暇を楽しんでいました。現在は海釣りと風景写真の撮影に夢中になっています。

時々、師の言葉がささやきます。

「知識を深めたいか?」と。

私は答えます。

「先生、趣味は確かに知識を深めてくれます。そして多くの友も与えてくれますね」。

釣り仲間、私の人生には縁遠いと思っていた業界の方々を紹介してくれます。

社交術、交際術を教えてくれ、人材の育成についても助言してくれます。

学歴、地位を自慢する事もなく接してくれ、すから「実るほど頭を垂れる稲穂かな」と心底から人格形成を学ぶ事が出来ました。

風景写真を撮る趣味でも素晴らしい体験をしています。

撮影地で被写体を探していると、見知らぬ同好の士が、ロケ地を案内してくれるばかりか一緒に撮影に付き合ってくれました。

風景は一期一会、刻々と変化します。作品を仕上げるために「場所と時」を共有している事は本当に嬉しいことです。

音楽を聴く事も好きです。ジャンルは問わずクラシック、歌謡曲、民謡、ジャズなど気に入った曲なら何でも良しです。

この趣味のお陰で私はスピーカーを自作する事が出来ました。出来映えに自画自賛し、一人で至極の時を得ています。

同じ会社の友が、アンプとスピーカーを自作し楽しんでおり、私にもスピーカーキットの購入を勧めてくれたのです。

約半年をかけて作り上げたスピーカーは、私に癒やしの時を与えてくれていました。

「趣味とはなんぞや」と問われたら、「友が増え人生が豊かになる」と答えるでしょう。

「生涯学習」。趣味から学ぶ事は沢山あります。趣味があったら迷う事なく足を踏み入れる事を大いに勧めたいものです。



旭川ダム「盛秋」



十和田湖「静かに暮れる時」

☆☆北部地区☆☆

地域の仲間と共に

北部地区生涯学習奨励員協議会

鎌田 礼子

私の地域には五つの町内が一つになって活動している五葉会という名の会があります。会員は二十名程で年間いろいろな活動をしています。

農繁期が終わると各町内の花壇に花植え、水やり、草取り等、手入れをするので秋の終わりにまできれいに花を咲かせます。

又、グラウンドゴルフをしたり、オレオレ詐欺にだまされない様に警察の話の聞いたり、防災会館の視察等、個人では中々聞けない話も耳にする事ができ、とても勉強になります。

奉仕活動として、お盆前に地域のお寺の草取りなど毎年行っています。

同じ地域に住んでいてもなかなか顔を合わせることも少なくなってきたので、いろいろな事業に参加して、みんなで「久し振り」と笑顔で挨拶できる仲間にいるのはとても幸せです。



各班に別れて作業開始



土を運んで花壇作り

☆☆ 河辺地区 ☆☆☆

そろばん

河辺地区生涯学習奨励員協議会

戸井田 和明

ひと昔前は、当たり前に「読み・書き・そろばん」と言われた言葉が、今は、「読み・書き・計算」に変わっています。それもそのはずで、電卓やパソコンがなかった時代のそろばんは、計算をして答えを出すこと自体を『目的』とした習い事でした。

しかし、現代のそろばんは「より速く」「正確に」計算を行うことで、様々な能力を鍛えようという習い事に変化してきました。計算は『手段』になったのです。

現在の能力開発の道具としてのそろばんは、珠算式暗算力をつけることで大きく変わっています。昔のそろばんの大会は、指導者もそろばんを速くはじくことに重点をおいて指導し、一級を取らせることが大きな目標でした。そのため残念なことにそろばん一級をとったけど暗算ができないという現象が起っていました。

しかし、現在のそろばんの全国大会では、そろばんを使って計算する選手はほとんどおらず、そろばん一級程度の問題（かけざん六桁×五桁、わり算十桁÷五桁、見取算（たしざんひきざん）十桁十口）をそろばんを使って計算するのではなく、暗算で行っています。

現在のそろばん教室は、「珠算式暗算」が出来る事を目的に大きな変化をおこしております。

二〇二五年は、秋田県からは、初のそろばん東北一を輩出し、更には全国あんざんコンクールにおいては、小学校五年の部と中学二年の部で全国一位を取ることが出来ました。おかげさまで、秋田県からは、学力だけではなく、そろばんの世界においても全国で活躍している人間を輩出しています。



東北大会で最優秀団体に選ばれた秋田あんざんアカデミーのメンバー



☆☆雄和地区☆☆

幸運人生

雄和ハーモニカクラブ  
竹下 哲

数え年九十歳を迎えるに当たり生涯を顧みる事とした。

八歳（国民学校二年）で敗戦、家業の農家を継ぐべく高校を終えて就農した。当時はまだ牛馬を追っての耕作で、稲は手刈りの時代だったから大変な重労働だった。それでも楽しみを求め青年会・公民館・ボランティア・民謡等の会の活動に没頭した。

そして八年経た頃、農業の実入りの少ない事と、小遣いも貰えぬ農業に見切りをつけ、別の仕事に転じようと決意、家族からは案外あっさり了承された。サラリーマンを考えたが、結局は自力で思い切り働ける商店を営む事に決めた。その頃縁あって結婚した。

さりとて商売はズブの素人、河辺町の某店に見習い就職、お客さんの扱い、問屋との駆け引き、記帳・銀行・税務まで夢中で勉強した。折から町村合併が成立、その新役場前に店を構える事ができた。

何かと多忙だった三十年代、そんな中でも趣味が高じて町内に踊りの会、カラオケ会も結成、県民踊協会にも籍を置き今にして思えば県民会

館・市文化会館で出演したのは数え切れない。

ようやく店も軌道に乗りかけた頃、今度は雄和の奥山に秋田空港が出来る事となり、秋田市から現地まで大道が出来る事を知る。その事は店が裏通りになる事だった。夢中で新道に向けた場所を確保、沿道に出した新店は繁盛した。

話は続く。それから数年、今度は店の裏手に銀行が来る事となり、横へ十数メートル移動するよう要請された。経費は銀行持ちです。

気が付けば六十歳近くになり仕事に疲れを覚える様になって居た。そんな時七社程からコンビニにしないかと交渉を受け、結局秋田市に本部のある会社と一期七年の契約を結んだ。得てして商いに向く所には競争相手が来るものです。コンビニも五年経った頃大手のローソンが来た。店を継ぐ事を希望する子や孫も居らず、閉店する事で一決、六十五歳でした。

省みれば商売人生三十五年、年商一億超の年が何回かあり、専売公社、コーラ社、商工会から何回か表彰されました。最後に加えたい大事の一つ、雄物川に堤防が出来る事となり、最初に建てた店と住居と屋敷をも含めて国が買い上げてくれたのです。閉店にかかった費用も含め全部を支払ったが借財は一銭もありませんでした。趣味の会や所属する各種会合からも引退。文芸の会、色鉛筆絵画、ハーモニカを嗜む程度でゆっくり余生を送っています。素晴らしい幸運の生涯でした。



FM樺台の放送局にて



ハーモニカ演奏でお祝い

# 表彰者紹介

## 秋田県生涯学習奨励員協議会 創立50周年特別表彰

- 加藤 長二郎 (中央)
- 加賀谷 ユウ子 (中央)
- 三浦 研二 (土崎)
- 鈴木 捷子 (南部)
- 中川 淑子 (北部)

右記の方々が表彰されました。

おめでとうございます。

今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

※敬称略



# 編集後記にかえて

新年、明けましておめでとうございます。  
 ここ数年、コロナ、大雨被害、熊出没の  
 事案が多く、辛く、苦しい日々を過ごされ  
 ている方には、一日も早く平穏な日常が戻  
 ることを願う。

いつ何が起きてもおかしくない世の中に  
 日々不安でしかない。

何事にも過信せず危機感を持って欲しい。

世の中が明るく、人々が笑顔に暮らせる  
 よう、人と人とのつながりを大切に、心  
 豊かな人生を送る上で、誰もがいつでもど  
 こでも学習できる生涯学習が必要不可欠で  
 あることを忘れることなく今年も頑張りま  
 しょう。

(石塚)



## 編集委員 (秋田市生涯学習奨励員)

- 柿崎 忍 (中央) 吉田 弘子 (土崎)
- 佐藤 清子 (西部) 高橋 多美子 (東部)
- 塚田 朋子 (南部) 鎌田 礼子 (北部)
- 石塚 小枝子 (河辺) 佐藤 祐子 (雄和)

## 『あしたの風』第百二号

発行年月

令和八年二月

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室

秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八―八八八―五八一〇

この広報誌は

発行部数 一、〇〇〇部

配布方法 無料配布

